

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年 3月 31日
2次評価日（課長等）	2年 3月 31日

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	地域福祉推進事業	コード	2101
-------	----------	-----	------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 社会福祉課	作成者 高橋 卓
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政策	福祉の推進	施策	地域福祉の推進
		予算科目	地域福祉推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要（簡潔に）	地域住民が、生涯にわたり住み慣れた地域で健やかに暮らし続けるため、地域でお互いに支え合う仕組みを整え、自立を支え合う地域づくりを行う。		
目的	対象者	地域住民（市民）	
	意図	地域福祉の充実	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>○地域サポートセンター事業 地域で抱える様々な課題の解決に向け、地域サポートセンターの体制整備・機能強化を図るため、岡谷市社会福祉協議会と連携して各区の状況把握や情報提供、会議支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三沢区地域福祉を考える会 3回（8/1、9/19、2/20） ・各地区を訪問し、地域における課題や地域福祉の取り組みについて聞き取りを行った。5月中旬～下旬 ・運営、事業推進等に係る経費に対する補助金交付（行政事務交付金） ・バリアフリー事業補助 小坂区自動ドア設置に対し補助 補助率1/3 補助額288,000円 <p>○岡谷市社会福祉協議会との連携による地域福祉の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協の基幹職員分等の補助 <p>○市内福祉団体への支援</p> <p>○恋つむぐ岡谷 出会いの場創出支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚に対する支援として、勤福センターと連携し婚活イベントを実施した。（7/28）また、新たな取り組みとして、市外への日帰り婚活バスツアーを実施した。（10/20） ・市内事業所等を通じて幅広く参加者を確保するため岡谷商工会議所と連携し周知を行い実施した。また、結婚支援に対して登録者を募り、メールマガジンにて結婚支援に関する情報提供を行った。 ・婚活イベント：7/28 参加者25人（男性12人、女性13人）、カップル数5組 ・婚活バスツアー：10/20 参加者27人（男性19人、女性18人）、カップル数6組 山梨県河口湖町ほか <p>○「おかやでスタート！」結婚新生活支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由により、結婚に不安を抱える低所得の若年層を対象に、住居費及び引越し費用を支援した。 ・2件 600,000円 <p>○福祉計画5計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画をはじめとする福祉関係5計画の更新に向けて、市民アンケート調査を実施した。アンケート回収率：地域福祉40.3%・高齢者福祉55.2%・障がい者福祉48.0% <p>○福祉有償運送運営協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉有償運送運営協議会 2回（7/25、12/20） 協議内容：福祉有償運送登録期間更新について、市内福祉有償運送における独自基準について ほか。 			
前年度の課題への対応	①各区を訪問し、地域で抱える課題等について情報交換をするとともに学習会開催について協議した。各区に先駆け、三沢区において学習会を開催した。 ②メールマガジンの配信を行い、結婚支援に関する情報提供を行った。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 活動指標（指標名）	地域サポートセンタ学習会等開催数			単位 回
実績値	0	0	3	
*指標の説明				
② 成果指標（指標名）	岡谷市地域福祉ネットワーク会議開催数			単位 回
目標値	0	2	2	2
実績値	0	3	0	
達成度	-	150.0%	0.0%	
*指標の説明	会議の開催数			
*目標値の設定方法の説明	前年度目標値数			

7 ア) コストの推移

*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	500,000	0	288,000	0
経常経費	500,000	0	288,000	0
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000
正規職員の人数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60
③ 合計コスト(①+②)	5,300,000	4,800,000	5,088,000	4,800,000
前年度比		90.6%	106.0%	94.3%
財源内訳	5,300,000	4,800,000	5,088,000	4,800,000
一般財源				
特定財源				
* 特定財源の説明				

④ 活動一単位あたりコスト	-	-	0	
前年度比		-	-	

⑤ コストに関する補足説明

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
行政事務交付金 (地域サポートセンター)	件数	21	21	21	21
	金額	1,405,000	1,380,000	1,380,000	1,275,000
地域サポートセンターパブリック事業補助金	件数	1	0	1	0
	金額	500,000	0	288,000	0
岡谷市社会福祉協議会補助金	件数	1	1	1	1
	金額	21,800,000	21,800,000	24,700,035	25,280,000
岡谷地区保護司会補助金	件数	1	1	1	1
	金額	45,000	45,000	45,000	45,000
結婚新生活支援事業補助金	件数	0	4	2	8
	金額	0	1,142,000	600,000	1,800,000
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	23,750,000	24,367,000	27,013,035	28,400,000
	割合	4,750.00%	-	9,379.53%	-

*行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

*妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

*有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 0.0%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 0.0%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	①地域福祉の推進では、本市の課題である「地域での支えあいや見守り体制の一層の充実」と「地域活動の支え手、担い手の確保・育成」を図るため、引き続き、これらの課題に取り組むための意識の醸成が必要である。 ②出会いの場創出事業において、セミナー&イベントへの参加者集めに苦慮している。	
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	①引き続き、各区個別に関わりながら、地域ごとの仕組みづくりに向けて学習会等を開催するとともに、地域福祉ネットワーク会議を活用し、各区どおしの情報交換の場を設け、支えあいの意識の醸成と広がりを図る。 ②引き続き、周知方法を工夫するほか、市も関わって、より魅力的なイベントを企画し、参加者増につなげる。	
	改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---